

平成 30 年 6 月 7 日

平成 30 年度 大阪府立日根野高等学校 第 1 回学校運営協議会（記録）

進行 教頭 金城 茂男
記録 教諭 釜谷 晃世

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）6名

泉佐野泉南医師会看護専門学校 副学校長 西田 好江 氏
ひねのこども園 園長 神藤 吉伸 氏
泉佐野市立日根野中学校 校長 安部 秀文 氏
イオンモール日根野 セネラルマネージャー 高岡 淳一 氏
大阪府立日根野高等学校 P T A 会長 豊福 秀夫 氏
大阪府立日根野高等学校 後援会役員 松田 みゆき 氏

2) 事務局員（出席者）6名

岸野校長、金城教頭、南事務長、杉原首席兼進路部長、矢萩教務部長、釜谷教諭

3. 協議

1) 協議会会長の選出

豊福 秀夫 氏を選出

2) 29 期生進路状況について（進路指導部長）

※四年制大学を希望する生徒が増えている。特徴として、短期大学を希望する生徒と看護医療系を希望する生徒が例年に比べてやや少なかった。看護医療系に関しては、入学時は希望者が多かったが、看護の仕事の厳しさを伝えすぎたため、少なくなったのではと考えている。

四年制大学では、商学、経済学部の人気が高い。看護・医療系の進学は、四年制大学希望する者も増えているが、学費の問題があるので、公務員は早めの準備が大事。

〈委員〉新卒で日根野高校出身の人が日根野子ども園でがんばっている。日根野高校の体験がきっかけとなっており、このようなつながりを大事にしていきたい。

〈委員〉看護専門学校は、教員と生徒との間が近い。クラスでの活動、担任がいて目が届ききめ細やかな指導を行っている。看護専門学校と大学の違いを日根野の先生からも伝えてほしい。

3) 平成 29 年度学校経営計画及び学校評価、平成 30 年度学校経営計画（案）及び学校評価（案）について（校長）

※今年度は、第一回の学校運営協議会で平成 30 年度学校経営計画の説明。第二回の学校運営協議会ではその教育計画の進捗状況を報告。

第三回の学校運営協議会では、平成31年度学校経営計画の説明と骨子の承認。
事業報告2018年2月～5月（岸野校長）

スタディサポートの定点観測について、本校の傾向

今年度1年生の部活動加入状況。

国際交流、今年度のオーストラリア語学研修

校内研修、eポートフォリオ

外部交流・地域貢献、日根野杯・イオンモールでのライブ・鳥取東中学校での説

明会

〈委員〉日根野の地域貢献は、本校の看護の専門学校と似ている。日根野のボランティアの組織はどうなっているのか

→生徒会、ボランティア部が主体となっている。

〈委員〉ボランティアをしたという経験は調査書にかける。そのことはあらゆる場面でプラスになる。

専門コースの垣根が低くなってゆくなら、今後、ボランティア活動とか、人の役に立つことに喜びを持つことは、大変強みになる。

〈委員〉地域に対して貢献することが社会福祉法人でも義務づけられている。

4) 教科書採択について（教務部長）

2回にわたって調査をしたところ、不適切な選定がなかったことを報告します。

4. 質疑応答

〈校長〉次回より、学校運営協議会の資料を前もって見てもらうつもりでいます。それによって、より意見を出しやすくしてゆきたい。

〈委員〉B2評価で2年生ががんばっているのはなぜか。

→特にわからないが、7クラスのとときにこの傾向がある。また、他の科目に比べて、英語の成績が落ちていなかった。

〈委員〉体育祭、文化祭で保護者以外の地域の方を入れることは考えていないのか

→オープンスクールで文化祭的な要素を加えることによって、中学生に日根野高校の様子を伝えてゆきたいと考えている。

〈委員〉オープンスクールで中学生、保護者は日根野高校生を見ている。地域の方も同じ。

〈委員〉オープンスクールなら、地域の方に知ってもらえる機会なので、ぜひとも実施してほしい。

〈委員〉オープンスクールで、高校を選択するための大きな材料となっていることは間違いない。

〈委員〉看護専門学校では、学生とオープンスクールで相談会をさせている。卒業生と関わらせている。

5 その他

○ 次回連絡

第2回学校運営協議会：平成30年9月28日（金）午後3時～

第3回学校運営協議会：平成31年1月25日（金）午後3時～